



## 有終の美を飾ろう ～3学期もあと1か月～

正門脇に1年生が植えたチューリップが、芽を出し始めました。立春を過ぎても、氷が張ったり雪が舞ったりと、寒さの厳しい日が続きました。風邪をひかないかな、との心配をよそに、子どもたちはまるで寒さを楽しんでいるかのように、メダカの鉢に張った氷を持ち上げて割ってみたり、降ってくる雪を捕まえようとしたり、元気いっぱい活動しています。



先日、1年生は4月に入学するこども園の園児を招いて、交流会を行いました。タブレットを使っての行事の説明や、一人ずつ手を引いて校内を案内する姿など、1年間ですいぶんお兄さんお姉さんになったなあと、成長を感じました。また、今週は中学校の先生が6年生への学校説明会と出前授業に来て下さり、少しでも中学校の世界を体験することができました。今年度もあと1か月です。子どもたちがやり残しのない1か月を過ごし、有終の美を飾ることができるよう、私たち教職員も力を合わせて頑張りたいと思います。変わらぬご支援、ご協力をお願いします。



新入学児童との交流



F C今治あいさつ運動



参観日

## 良い生活習慣は「宝物」

私たちの生活習慣には、子どもの頃に身に付けた習慣が多いのではないのでしょうか。「良い習慣」は子どもにとって一生の宝物であり、子どもたちにしっかりと良い習慣を身に付けさせることは私たち大人の責務でもあります。ぜひ身に付けてほしい習慣は、「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「勉強」などでしょうか。反対に、身に付けてほしくない習慣は「度を過ぎたネットやSNS、ゲーム、テレビ」等でしょうか。なかなか身に付きにくい習慣もあれば、そうでない習慣もあります。「長い間繰り返された結果、その行動が自然にできるようになること」が習慣です。今すぐはできなくても、成長するにつれてできるようになるものもあります。なぜ必要なかを理解させ、その良さを実感させ、さらに、それらを繰り返し続けていく根気と働きかけが必要です。学校でも、「挨拶運動」や「家庭学習チャレンジ週間」などを実践しています。毎日指導していても、日によってうまくできることもあればそうでないこともあります。繰り返すことで、やがて確立、定着していくと考えています。

習慣のほとんどは、家庭で身に付けるものと言われます。私たち大人が、子どもたちの生活のいろいろな場面で粘り強く関わることが、子どもたちの宝物を、これから輝かせることにつながります。お家でのご協力、よろしくお願いします。

